

タイトル『バブニー・ぱいの一らる』

CV 小糸

企画・台本 オナサポ総合研究所

【はじめに】

は～い、坊や達？

ママが抱っこしてあげまちゅよ～？

恥ずかしがり屋の坊やも、素直になれないボクちゃんも…み～んな
み～んな、ママに甘えちゃっていいんでちゅ。

ここは、「バブバブちゃん」だけが、遊べる館…。

ちょっぴりおちんちんが寂しくなっちゃった坊や達に、「バブニ
一」を、教えてあげまちゅからね～？

さあ、ママに続いて言ってみてくだちや～い？

ばぶう～、ばぶう～。

恥ずかしがらずに言えまちたか～？

バブバブちゃんになりきれる自信のある子だけ…ママのところへ、
来てくだちやいね～？

そ～んな退行願望の強い「バブバブちゃん」には、ママのお手々で、
やわらかオッパイで、ぬるぬるの「ベロベロ」で…と～っても気持
ちよくしてあげまちゅからね～？

じゃあ、待ってまちゅよ？ 坊や達？

んつふふ。

1章【ママのオッパイでふるんふるん】

坊や、ママに会いに来てくれたんでちゅね？

今まで誰にも甘えることができなかつたんでちゅか？

〈坊や ばぶう～〉

それは^{さみ}寂しかつたでちゅね～？

今日はた～くさん、ママに甘えちゃつていいんでちゅよ～？

坊やの声、聞かせくだちやいね？

マあーマ、マあーマ♪

ばぶう一、ばぶう一、ばぶう一。

そうでちゅよ～？ も～っと元気な声だせまちゅか～？

恥ずかしがらなくとも^{だいじょうぶ}大丈夫でちゅよ～？

ばぶう一、ばぶう一。

ふふつ。

ばぶう一、ばぶう一、ばぶう一、ばぶう一。

んつふふ。

坊やのことを一番大切に思つてゐるのは、目の前にいるママでちゅからね～？

マあーマ、マあーマ♪

ばぶう一、ばつぶう一、ばつぶう一。

そう、いい子でちゅね？ とつてもいい子でちゅ。

坊やはママのこと、好きでちゅか～？

ばぶう一、ばぶう一、ばぶう一、ばぶばぶう一。

とつてもうれしいでちゅよ～、坊やがママのことを好きでいてくれて。

ママも坊やのことが大好きでちゅ。

だからず～っとず～っと、可愛い坊やのまま…元気でいてくだちや
いね～？

ばぶう一、ばつぶう一。ばぶばぶう一。

〈坊や きやっきや〉

んつふふ。

ママと一緒に「ばぶばぶ」 してたら、お腹なかがすいちゃいまちたね
～？

なにが欲しいんでちゅか？ 坊や。

坊やはなにが欲しいの？

ママのオッパイ？

ママのオッパイを、ちゅーちゅーしたいんでちゅね？

この特大のメロンより大きく実みのった、「やわらかオッパイ」に、坊
やの夢が、た～くさん、詰つまっていまちゅよ～？

ほ～ら、ママの左のオッパイから、ちゅーちゅーしてくだちやいね
～？

〈左耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

ちゅ～、ちゅっ♪

今度は右のオッパイも、あわてずに吸うんでちゅよ？

〈右耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

ちゅ～、ちゅっ♪

んつふふ。

そんなに欲しがっても、両方いっぺんには無理でちゅよ？

右か左か、どちらかのオッパイをひと～つずつ…。

〈左耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

〈右耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

〈左耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

〈右耳より〉

ちゅ～、ちゅっ♪

ふふっ、どっちのオッパイも待ちきれないくらい、交互にちゅーちゅーしちゃって。

坊やは欲張りさんでちゅね～？

ママのオッパイ、そんなに美味しいんでちゅか～？

ばぶうー、ばつぶうー。

坊やの喜ぶ顔をみるのが、ママの幸せでちゅよ～？

お顔をうずめて、「パフパフ」しまちょうね～？

パフパフ、パフパフ♪

パフパフ、パフパフ♪

〈坊や はふうー〉

ママのお胸に「パフパフ」、坊やは大好きでちゅね～？

大好き過ぎて、坊やの大事な大事なところが、ムクムク膨らんできちゃいまちたよ～？

おちんちんピンコピンコでちゅ。

このピンコピンコは、どうすれば治るんでちゅか～？

坊やの可愛いタマタマから、ミルクをいっぱい出さないといけまちえんね～？

ママの大きな大きなオッパイで、モミモミしてあげまちゅね～？

こ～んなふうにでちゅよ～？

〈左右交互に〉

ポヨ～ン、ポヨ～ン、ポヨ～ン、ポヨ～ン。

〈坊や はふはふー〉

ママの「やわらかオッパイ」に包まれて、坊やの「おちんちんピンコピンコ」が、もっともっと硬くなって来ていまちゅよ～？

〈左右交互に〉

ポヨ～ン、ポヨ～ン、ポヨ～ン、ポヨヨヨ～ン。

とっても大きくなりまちたね～？

ここまで大きくなったら、甘あ～い甘あ～い「練乳ミルク」を、たっぷり垂らして、ぬるぬるにしてあげまちゅよ～？

〈びゅるる、クチュ〉

ママの大きな二つのオッパイが、うえ上にした下に…。

ぶる～んと揺れて、坊やのおちんちんを、ぬるぬるムニュムニュ…。

何度も繰り返しの「オッパイピストン」が、トロけてしまうくらい、
ゆめごこち
夢心地の気分でちゅ。

ぬるぬる～、ムニュムニュ～♪

ぬるぬる～、ムニュムニュ～♪

坊やの「おっき」した亀さんのあたま頭かしらが、カウパーでじんわり濡れて、

先っぽがテッカテカになって来ていまちゅよ～？

おちんちん気持ちいいんでちゅか～？

〈坊や はうー〉

いっぱい気持ちよくなると、タマタマがきゅーっとあがって来まちゅからね～？

今度は「きりもみパイパイ」でちゅ。

右のオッパイを上げて～、左のオッパイをおろして。

左のオッパイを上げたら～、右のオッパイをおろしまちゅ。

こうして互い違いにおちんちんをモミモミすると、坊やのカリ首の
あた
辺りが、ぬるぬると刺激されて、とっても幸せな気分になりまちゅ
よ～？

〈坊や あうあう一〉

ふるーん、ふるーん、ふる～ん。

もみもみふる～ん、ふるふるふる～ん。

ふるふるふるふる、ふるふるふるふる。

ふるふるふるふる、ふるふるふるふる。

ふるふるふるるん、ふるふるふる～ん♪

どうでちゅか～？ 坊や。

もう「ぴゅっぴゅ」しちゃいそうでちゅか～？

ばぶう～、ばぶう～。

〈右耳へささやき〉

まだでちゅよ～、ま～だ。

もっとふるふるしまちゅからね～？

坊やのタマタマから「甘えん坊ミルク」を、いっぱい搾ってあげま
ちゅよ～？

ママのオッパイが形を変えちゃうくらいの勢いで、「高速パイパ
イ」

いきまちゅよ～？

さん、はい♪

たふたふたふたふ／ふるふるふるふる。

たふたふたふたふ／ふるふるふるふる。

たふたふたふたふ／ふるふるふるふるう～♪

〈ぐちゅぐちゅ…〉

ママのオッパイにこ～んなにされちゃったら、たまりまちえんね
～？

坊やのおちんちんの鈴口から、トロ～ンと糸をひく透明なお汁があ
ふれて、止まらなくなつて来ていまちゅよ～？

「やわらかオッパイ」にモミモミされて、もう「どぴゅっぴゅ
すんぜん
寸前」でちゅ。

イキたいでちゅか～？ 坊や。

気持ちよくどぴゅ～っと、出したいでちゅよね～？

いいでちゅよ～？

ぴゅ～っと飛ばしてくだちやいね～？ ママの大きな大きな胸の谷
間に。

〈坊や はう～〉

坊やのタマタマミルク、ぴゅっぴゅのお時間でちゅよ～？

ファイナルどぴゅどぴゅカウントダウン、5秒前。

よん さん にい いち
4 … 3 … 2 … 1 …。

ゼロ～♪

どぴゅ～、どっぴゅ～、どぴゅどぴゅどぴゅ～。

〈坊や はうあうあ～〉

は～い。

とっても元気に勢いよく、出すことができまちたね～。

量も多くてトロトロで、これは最高の「花まるぴゅっぴゅ」でちゅ。

坊やは満足できまちたか？

〈坊や ばっぷう一〉

ママはとっても幸せな気分でちゅよ？

「ぴゅつぴゅ」に疲れちゃった坊やは、お休みしまちゅうね？

さあ、目をつむって？

今からママが、絵本を読んであげまちゅよ？

2章－1 【耳舐めの女神さま】

〈序奏 BGM〉

むかし物語ものがたり、「耳舐めの女神さま」

むか～しむか～し、ある小さな村のはずれに、一人の若者が暮らし
ていました。

若者の名前は、バブーといいます。

バブーは優しくまじめでしたが、とても貧しかったので、いまにも
崩れそうなボロ家くずやに住んでいました。

けれどそんなバブーが毎日欠かさずにしていることがあります。

裏山の山道うらやまにひっそりと佇さんとうんでいた、ゆえも知れぬ古びたお地蔵
様とうとを尊たたずび、自ら口にするはずの麦みずかの半分むぎを残しては、お供え物そなを
していたのです。

誰から言われたわけでもありません。

雨の日も風の日も、夏の日も冬の日も、くり返しきり返しづつと、
それを続けていたのです。

ある晩のことです——。

バブーの住むボロ屋やの玄関を、ドンドンと激しく叩たたく音が聞こえま
した。

〈ドンドン〉

こんな夜更けよふに騒さわがしくする者は、まともな人間であるはずがあり
ません。

バブーは粗末そまつな布団ふとんを頭までかぶり、気づかないふりをしました。
すると…。

「わしじや、地蔵じや。ここを開けるのじや」と、あのお地蔵様を
名乗る若い女子おなごの声が、はっきりと聞こえるではありませんか。

びっくりして飛び起きたバブーは半信半疑、おそるおそる戸を開くと、そこには今まで見たこともないような、とても美しい女子が立っていたのです。

「ふむ、相変わらずふぬけた面つらをしておるのう」
言葉づかいは少しヘンでしたが、バブーは一目惚れをしてしまいました。

「わしは耳舐ぼさつめ菩薩ぼさつじや。長い間あいだあの場所におったが、おぬしのことを幸せにしうなった。今日からここに住まわせてもらうぞ？」

なんとバブーが毎日手を合わせていたあのお地蔵様は、その耳を舐めた者ものに幸さちをもたらし、富とみを運ぶという、「耳舐めの女神じよめの女神さま」だったのです。

さっそくその日の晩ばんからバブーは、ペロリぬるりと、耳を舐められました。

〈右耳を舐めます〉

ペロ~リ、ペロペロ、ペロ~リ、ペロペロ…。

「耳舐めはよいものじや。どれ、こちら側こちもしてやろう」

〈左耳を舐めます〉

ペロ~リ、ペロペロ、ペロ~リ、ペロペロ…。

どれくらい舐められていたのか分かりません。

女神の手はバブーの乳首や下半身にも伸び、色々なところを気持ちよくしてくれました。

バブーはあまりの夢見心地ゆめみごこちにウットリとし、いつのまにか眠ってしまったのです。

2章－2 【坊やの夢の通りに耳舐めシコシコでちゅ】

坊や、夢を見ていたんでちゅか？

〈坊や ばぶあー？〉

ママが坊やの^{ねむ}眠る前に聞かせた、昔ばなし？

あれは「かちかち山」でちたね～？

悪いタヌキさんをウサギさんが、こらしめるお話でちゅ。

〈坊や ばっぷうー〉

なあに？ そんな話じゃなかったの？

違うお話だったんでちゅか？

坊やがそんなに興味をもつくらい、面白いお話だったんでちゅね
～？

〈坊や あうー〉

それじゃあ今からママが、子供の頃に読んだ絵本と、同じことをし
てみまちゅよ～？

坊やの見た夢と同じだったかどうか、あとで教えてくだちやいね？

〈坊や あうー〉

お耳を舐めまちゅよ～？

右耳をこう…。

〈右耳を舐めます〉

ペロ～リ、ペロペロ、ペロ～リ、ペロペロ…。

耳を舐めるのがとっても大好きな、女神様がいたんでちゅ。

〈左耳を舐めます〉

ペロ～リ、ペロペロ、ペロ～リ、ペロペロ…。

気持ちいいでちゅか？

もっとペロペロして^ほ欲ちかったら、ばぶうーって、答えてみてくだ

ちやい？

ばぶうー、ばぶうー、ばぶうー。

んつふふ。

〈右耳を舐めます〉

ペロ～リ、ペロペロ、ペロ～リ、ペロペロ…。

また、こっちの耳でちゅよ～？

〈左耳を舐めます〉

ペロ～リ、ペロペロ、ペロ～リ、ペロペロ…。

こんなにペロペロされちゃうと、これだけでは我慢できなくなっちゃいまちゅよね～？

〈坊や あうー〉

ここをこうでちゅ。

坊やの乳首を、親指と人さし指で、軽～くつまんで…。

きゅ～っと、おひねりしちゃいまちゅよ～？

コリコリきゅ～っ、コリコリきゅ～っ。

〈坊や はうあー〉

〈右耳を舐めます〉

ペロ～リ、ペロペロ、ペロ～リ、ペロペロ…。

〈右耳にささやき〉

ちくび
乳首さんだけじゃなくて、坊やのおちんちんも…^た勃って来てまちゅよ？

〈右耳を舐めます〉

ペロ～リ、ペロペロ、ペロ～リ、ペロペロ…。

おちんちんシコシコしちゃっていいんでちゅか～？

ばぶう～、ばぶう～。

〈左耳を舐めます〉

ペロ～リ、ペロペロ、ペロ～リ、ペロペロ…。

〈左耳にささやき〉

坊やのおちんちんのお皮を、めくったりかぶせたり…。

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。

〈左耳を舐めます〉

ペロ～リ、ペロペロ、ペロ～リ、ペロペロ…。

気持ちいいでちゅね～？

坊やのここは、今からママにも～っと、気持ちよくされちゃいまちゅよ～？

ママのお口でパク～っと…。

あ～む、クチュ、チュル、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、デュル、デュル、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル…。

ママの「チュパチュパおしゃぶり」は、坊やのここをトロトロに…トロけさせちゃうおしゃぶりでちゅ。

ん、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、レロレロレロレロレロ、レロレロレロレロ…。

デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル…。

デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、レロレロレロレロレロ、レロレロレロレロ…デュル、デュルリ…。

坊やのおちんちんの裏側の、根元から先っちょまで…ベロ～リ、ベロ～リ、ベロ～リ、ベロ～リ。

もうおちんちん、ぬるぬるでちゅね～？

〈坊や はうあー〉

デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、デュル、デュルル、
デュル、デュル、ベロ～り、ベロ～り、ベロ～り、ベロ～り、デュ
ル、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル……。

で出ちやいそудちゅか～？

ミルクが溜まっているタマタマ、ぱくぱくしちゃいまちゅよ～？

あむ、デュルル、ブデュルルルルルルルルルルルウウウ～
…ちゅぽん。

ん～む、デュルル、ブデュルルルルルルルルルルルウウウー
ツ…ちゅぽん。

〈坊や あうー〉

んつふふ。

また舐め舐めを、おちんちんに戻して…。

ほ～ら…デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、レロレロレ
ロレロレロレロ、レロレロレロレロレロ…。

ん、デュル、デュル、デュルル、デュル、デュル、デュル、デュル
ル、デュル、デュル…ちゅぽん。

ママにペロペロされて、おちんちんビックンビックンでちゅね～？

最後はお手々で、「どっぴゅん」でちゅよ？

坊やのカウパーとママの「唾々」で、たっぷり濡らしておきまちた
からね～？

〈クチュクチュ 手こき開始〉

〈右耳にささやき〉

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。

「指わつか」がカリ首にクニユクニユ引っかかって、気持ちいいでちゅね～？

ばぶう～、ばぶう～。

ママのお手々にシコシコされると、坊やは魔法が掛かったみたいに、
トロ～ンととろけて、夢心地になりまちゅ…。

〈左耳にささやき〉

シコシコシコシコ、シコシコシコシコ。

坊やのおちんちんの裏筋が、ピーンと張って…。はちきれちゃいそ
うでちゅよ～？

もうこんなにシコシコされたら、イキたくてたまらないでちゅよね
～？

いいんでちゅよ～？ お漏らししちゃっても。

〈坊や はう一〉

さあ坊や？ ぴゅっぴゅの時間でちゅよ～？

おもいっきり飛ばしてくだちゃいね～？

今度はどこに出すんでちゅか～？

ママのお顔？ お口の中？

〈坊や ばぶう一〉

ふふつ、じゃあお口の中に。

ぴゅ～っとでちゅよ？ 坊やのおいしいミルク…。

ママが3つ数えたら、坊やはイッてしまいまちゅ。

おなかの奥からグゥーっと溜めて、準備はいいでちゅか～？

いきまちゅよ～？

3、2、1…。

はい。

どぴゅ～、どっぴゅ～、どぴゅどぴゅどぴゅ～。

〈坊や あうっ、はううー〉

ん…クチュ、チュル、チュルル、チュルルル、チュル…。

ゴクリ…。

坊やのタマタマミルクは、のどごし柔らかでちゅね～？

また、飲ませてくだちやいね？

んつふふ。

3章－1 【その後のバブー】

坊やの見た夢は、「耳舐めの女神さま」

その話にそっくりでちゅね～？

まいばん
毎晩耳をペロペロされたり、おちんちんをシコシコされたり、独り
み
身だったバブーは、幸せ者になりました。

この話の最後にバブーはどうなったのか、坊やは知つていまちゅ
か？

〈坊や ばううー？〉

女神様に「耳を舐め舐め」されたバブーは、ある日ある能力に気づ
いたんでちゅ。

山や川にすむ動物や魚たちの、「言葉」がわかるようになったこと
…。

そのおかげであちこちに埋まっていた、「たくさんの中銀財宝」を、
みつけることができたんでちゅよ？

だからバブーは、「耳舐め長者」と…いわれたそうな。

おしまい。

〈坊や ばぶうー〉

んつふふ。

ママの読んだ絵本に書いてあったのは、これだけちゅ。

けれど若いバブーが美しい女神さまを前にして、「耳舐めペロペ
ロ」や「手こきシコシコ」、本当にそれだけで我慢できたと、思
まちゅか？

どんなにおとなしいバブーや、坊やみたいな男の子にだって…。

「女の子にパンパンしてみたい」っていう欲求は、眠っているはず
でちゅから。

その証拠に、バブーと女神さまがエッチをしたお話も、いっぱい描
かれているんでちゅよ？

みんな女神さまやバブーのことを、とってもとっても、気に入って
いたんでちゅね～？ ふふつ。

3章-2 【ママとパンパンで中だしひゅっふゅでちゅ】

さあ坊や、よーく見てくだちやい?

これがママの「まんまん」でちゅよ~?

ぱっくりお口を広げた、天然の「アワビちゃん」みたいでちゅね~?

この中に坊やのおちんちんが、ぬるぬる入っていくんでちゅ。^{はい}

ママのカラダに入っていくなんて、なんだかワクワクしちゃいまちゅね~。^{はい}

さあ、坊やのおちんちんを、「ピンコピンコ」しまちようね~?

ママのお手々でえ~。^{てて}

シコシコシコシコ。

坊やのここが、大きく硬あ~くなりまちゅように。

シコシコシコシコ。

次はお口でいきまちゅよ~?

ん…クチュ…デュル…デュル…デュル…デュル…デュルルル…ちゅぽん。

〈坊や はう一〉

はい、これでおっけーでちゅ。

大きくなったここを、ママの中に挿^いれていきまちようね~?

亀さんの頭を~、下のお口にあてがってえ~。

ぬるぬるヌプヌプ、ゆっくりとゆっくりと…。

〈ジュブ…〉

ああ…。

きてまちゅよ坊や…。

初めて「まんまん」に挿^いれたヌプヌプ、じゅうずにできまちたね

～？

「まんまん」の中は、気持ちいいでちゅか～？

〈坊や ばぶう～〉

ばぶう～、ばぶばぶう～。

そのまま腰を前後に振って、もっともつ～と、ばぶばぶしまちょうね～？

せーの♪

パ～ンパン、パ～ンパン♪ パ～ンパン、パ～ンパン♪

いいでちゅよ～。

パ～ンパン、パ～ンパン♪ パ～ンパン、パ～ンパン♪

は～い、坊やはハメハメとってもじょうず。

同じようにママがリズムをとってあげまちゅから、続けておちんちんを入れたり出したりするんでちゅよ～？

せーの♪

は～いはい、は～いはい♪ は～いはい、は～いはい♪

そのままそのまま～♪

は～いはい、は～いはい♪ は～いはい、シュッシュ♪

〈坊や ばぶあ～、はうう…〉

どうしたんでちゅか～？ 坊や。

もうお漏らししちゃいそうなんでちゅか～？

いけまちえんよ～？

坊やのおちんちんには、ママの期待^{きたい}がたくさん掛^かかっていまちゅからね～？

頑張ってパンパンしまちょうね～？

そーれ♪

ピストン、ピストン♪

ひいー、ふうー、みーー、よー♪

ピストン、ピストン♪

いつ、むーー、なーー、やーー♪

パンパン、パンパン♪ パンパン、パンパン♪

はーいはーい、はーいはーい♪ んつ、ん、んつ、んうー♪

はーい、パンパンとめてくだちやいね~。

〈坊や ばぶう…ばう〉

坊やは^{そしつ}素質がありまちゅよ~?

「パンパンオリンピック」の金メダル候補^{こうほ}でちゅ。

いまに世界中の女の子がびっくりするくらいの、「パンパンアスリ

ート」になれまちゅよ~? んつふふ。

〈坊や ばっぶう~〉

さあ、まだ大丈夫でちゅか~?

今度はママの騎乗位^{きじょうい}で、奥まで深めのパンパンでちゅよ~?

我慢^{がまん}できなくなったら、これでどぴゅ~っと、出しちゃいまちょうね~?

上からヌプ~っと…。

〈グチュルル…〉

ん…あつ…ああつ…。

入りまちたよ~? 坊や。

いきまちゅね~…?

ずっぽん、ずっぽん、ずっぽん、ばっこん♪

ずっぽん、ずっぽん、ずっぽん、ばっこん♪

んつ…ああ…。

〈パンパン〉

ああ…ああ…はあ…はあ…はあ…ああ…。

見えまちゅか～？ …坊や。

おちんちんがズッポリと、入ってるところ…。

はあ…はあ…はあ…はあ…ああ…。

もっと後ろに^そ反り返って、よ～く見せてあげまちゅよ～…？

〈ぐい グチュ〉

あつ…ああつ…ああ…はあ…はあ…はあ…。

坊やの「とろとろミルク」、ママにた～くさん…^{そそ}注いでくだちやい
ね～…？

お尻をぐるぐる回してえ～…^{じょう げ} 上下にパンパンはめて…。

ん…う…ああ…ああ…はあ…はあ…はあ…はあ…。

いいでちゅよ～坊や、とってもいいでちゅよ～…？

坊やはあと…^{なん}何^ピストンくらい^た耐えられそうでちゅか～…？

ママのまんまんと坊やのおちんちんは、仲良しこよいでちゅ…。

奥まで^い挿れて、ぬる～っと出して…。

深あ～く^い挿れて、ぬるぬる^ぬ抜いて…。

坊やのおちんちんは、ママの肉まんまんに^{にく}上下^{じょう げ}されるたびに…。

はあ…はあ…とってもとっても…気持ちよ～くなってゆきまちゅ…。

ん…んつ…ああつ…はあつ…ああ…はあ…はあ…はあ…。

まっすぐそそり勃った坊やのおちんちんに、ズッポリ^い挿れられちゃ
って…ママもたまらなく、気持ちよくなつて来ていまちゅよ～…？

はあ…はあ…もうママのまんまんは、「メロメロのびちょびちょ」
でちゅ…。

奥からじゅわっと…はあ…はあ…ああ…ああ…ああ…^{あふ}溢れだして来てるマ

あいえき
マの愛液、わかりまちゅか～…？

はあ…はあ…はあ…あああ…んつ…はあ…はあ…はあ…。

〈坊や ばぶう～〉

〈グジュル…〉

どうやら坊やのおちんちんも、限界ギリギリみたいでちゅね～…？

いいんでちゅよ～？ 坊や…。

それじゃあママのまんまんに、「中だしひゅっひゅ」 しまちょうね～…？

はあ…はあ…大きなお尻がお餅みたいに揺れて、ペッタンコペッタ
ンコ…。速めにパンパンしまちゅからね～…？

〈パンパンパン〉

んつ…んんつ…あつ…あああつ…。

う…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…はあつ…ああつ…ああつ…
ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…。

のぼ
気持ちいいでちゅよ～坊や…ママも昇りつめて、イキそうでちゅ…。
まんまんがきゅ～んと締まって…坊やのおちんちんから…はあ…は
あ…タマタマミルクをぴゅぴゅ～っと…搾ろうとしていまちゅね～
…？

ん…ああ…ああつ…ああつ…ああつ…う…はう…あ…あ…はあ…
はあ…はあ…はあ…。

どぴゅどぴゅしまちょうね～、どぴゅどぴゅどぴゅどぴゅでちゅよ
～…。

どぴゅどぴゅ～、どぴゅどぴゅ～、どぴゅどぴゅどぴゅ～…。

あつ…ああつ…はあ…はあ…どぴゅ…つああ…はあ…はあ…どぴゅ
どぴゅ～…どぴゅどぴゅどぴゅ～…。

坊やのおちんちんから…タマタマミルク発射準備…完了でちゅ…。

あつ…ああつ…ああつ…はあつ…ああつ…ああつ…はあ…はあ…ひ
ゆ～っと飛ばしていいんでちゅよ～？ …ん…ああつ…ああつ…あ
あつ…ああつ…ああつ…ああつ…はあつ…ああつ…ああつ…ああ
…ああつ…ああつ…ああつ…んう…あつ…。

まんまんイキまちゅよ～？ …ママイキまちゅよ坊や？

一緒にキテくだちやいね～…？

はあつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああつ…ああ
…ああつ…ああつ…ん…ああつ…ああつ…ああつ…ああ
…ああつ…ああつ…ああつ…。

あああつ…あああああああ～つ。

イクううう…。

んつ…んう…あつ…ああつ…。

〈ドピュドピュ〉

はあ…はあ…はあ…はあ…。

大成功でちゅよ、坊や…。

こんなにいっぱい…。

はあ…はあ…はあ…。

「とろとろミルク」が、あふれて来ていまちゅ…。

ほ～ら…。

〈べちゅ…〉

ん…デュ…デュル…デュル…デュルル…デュル…ちゅぽん。

はあ…はあ…。

ふふつ…。

付録の章【ママといっしょにおやすみ坊や】

ここから先は、ねむねむの時間…。

ママと一緒に、おねんねしまちょうね～？

さあ、横になって目を閉じて？

〈坊や 目を閉じる〉

そうでちゅよ～？

ママに呼吸を合わせていくと、気持ちよ～く眠れまちゅからね～？

鼻からでも口からでもいいでちゅよ？

息をスウ～っと吸って？

〈坊や スウ～〉

フウ～^はっと吐いて。

〈坊や フウ～〉

スウ～っと吸って？

〈坊や スウ～〉

フウ～^はっと吐いて。

〈坊や フウ～〉

スウ～っと吸って？

〈坊や スウ～〉

フウ～^はっと吐いて。

〈坊や フウ～〉

そのままつづけてくだちやいね～？

吸って～、吐いて。

吸って～、吐いて。

〈坊や スウ～、フウ～〉

とつてもいいでちゅよ～？

そうして坊やは呼吸をしているだけで、^{ふか}深い眠りに、おちていきまちゅ。

深あ～く、深あ～く…。

坊やの記憶がぼんやりと、^{うす}^い薄れて行くくらいになると…。

いつも見えていた「お外」の世界からは、どんどんどんどん遠ざか
って…夢の中へ。

そこにママがいまちゅからね~?

ずっと一緒に、坊やと一緒に…。

すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう～、はあ～、
すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう～、
はあ～、すう～、はあ～、すう～、はあ～、すう～、はあ～、
すう～、はあ～、すう～、はあ～。

〈呼吸から寝息にかわります〉

ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、
ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、
はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、
はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、
はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、
はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、
はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～、ふう～、はあ～…。
おやすみ、坊や…。

おわり